


FOLFIRI (5-FU+ ℓ -LV+CPT-11)+Cetuximab療法						
		Day				
薬剤名	用法用量	1	2	3	8	14
アービタックス (Cetuximab)	初回投与：400mg/m ² 点滴静注（2時間） 2回目以降：250mg/ m ²	↓			↓	
イリノテカン (CPT-11)	150mg/m ² 点滴静注（90分）	↓				
レボホリナート (ℓ -LV)	200mg/m ² 点滴静注（2時間）	↓				
フルオロウラシル (5-FU)	400mg/m ² 静注時間（5分）	↓				
フルオロウラシル (5-FU)	2400mg/m ² 持続静注（46時					

【制吐対策】

① 5-HT ₃ 受容体拮抗薬（Day1）
② デキサメタゾン静注9.9mg 1V（Day1） デキサメタゾン経口8mg（Day2~3）

【基本事項】

EGFR陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸がん ※KRAS野生型のみ

【レジメンポイント】

- ① 前投薬の確認、イリノテカンは催吐性リスク中程度、デキサメタゾンは必要時
- ② イリノテカンとレボホリナートは同時に点滴静注
- ③ infusion reaction予防に抗ヒスタミン薬と副腎皮質ステロイドをアービタックス投与30~60分前に服用

【併用禁忌薬】

TS-1が投与されていないことを確認。 ※併用注意フェイトイ、ワファリ

【主な副作用】

手足症候群、下痢、脱毛、骨髄抑制、悪心や口内炎、末梢神経障害、皮膚障害、爪囲炎、低Mg血症、Infusion reaction